

第 27 回 中小企業景況調査 (平成 22 年 10 月 12 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は、改善しています。

- ・全業種の業況判断 DI は、マイナス幅が縮小しました。(28.2 11.2)
- ・業種別にみると、以下のとおりです。
3 ヶ月前から好転 : 建設業、小売業(最寄品)、小売業(買回品)、飲食業、サービス業
3 ヶ月前から横ばい : 製造業

1. 全業種の業況判断 DI は、 11.2 (3 ヶ月前と比べ +17.0 ポイント) とマイナス幅が縮小しました。
2. 設備投資件数は、10 件 (3 ヶ月前と比べ 9 件) となりました。1 年前の 21 件との比較では減少しました。
3. 経営上の問題点(回答社数に対する比率)は、 需要の停滞 : 58% (3 ヶ月前と比べ +16 ポイント)(73 社)、 利用者ニーズの変化 : 27% (3 ヶ月前と比べ +10 ポイント)(34 社)、 販売単価の低下・上昇難 : 26% (3 ヶ月前と比べ +10 ポイント)(32 社) の順です。

トピックス

- ・国内全産業の業況判断 DI は、 27.9 (3 ヶ月前と比べ +1.1 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小しました。
- ・神奈川県全産業の業況判断 DI は、 53.8 (3 ヶ月前と比べ 1.3 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大しました。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小、建設業と商業・サービス業でマイナス幅が拡大しました。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成23年1月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	14	14	20	23	31	23	125
回答率	93.3%	93.3%	87.0%	76.7%	83.8%	76.7%	83.3%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目

- (1). DIの状況について

自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数

- (2). 設備投資について

- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index(ディフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。

各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。

- ・ 四半期； 1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」

- ・ 前期比； 3ヵ月前との比較

- ・ 前年同期比； 1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30% の場合、次のような計算になります。

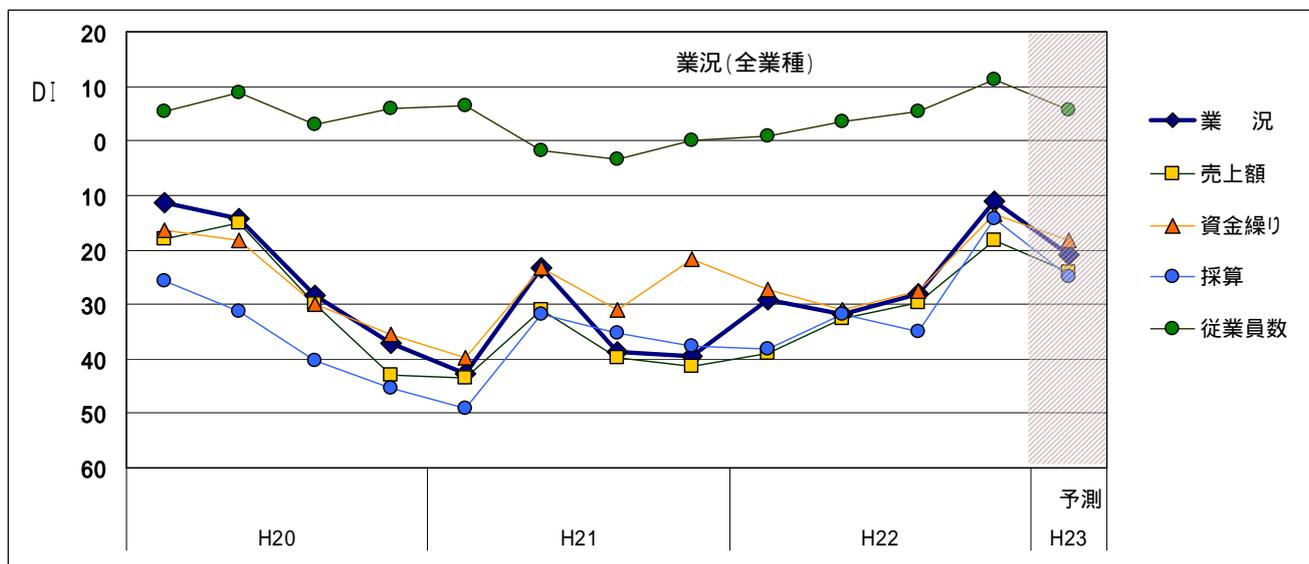
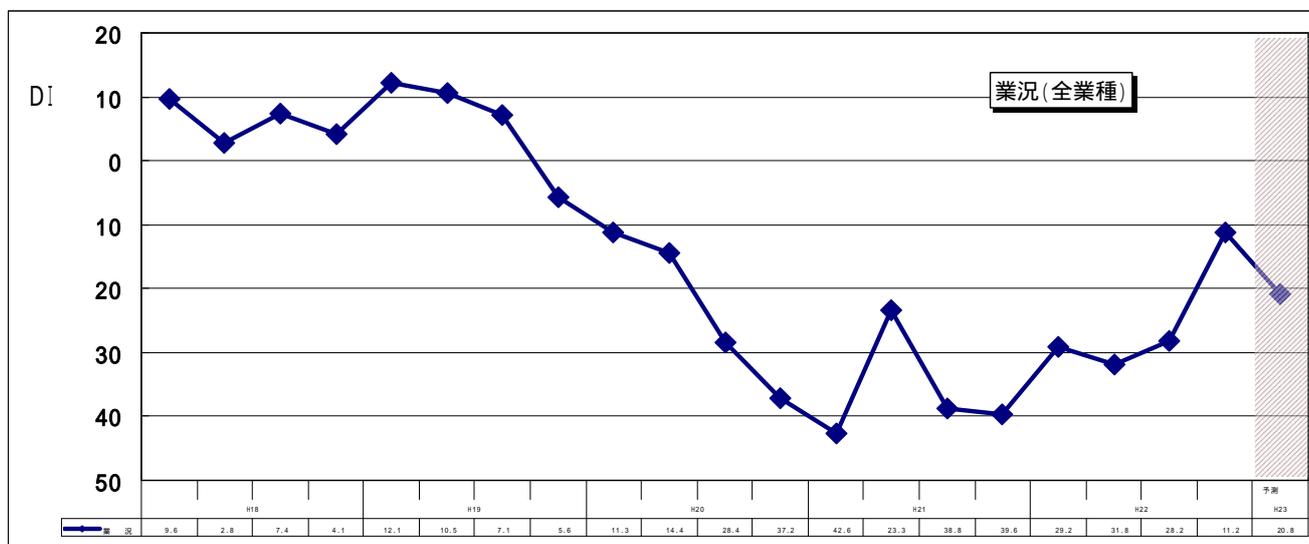
$$DI = 50 - 30 = 20$$

《調査結果》

・全業種

業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は 11.2 (前期比 +17.0 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 20.8 と悪化の見通しです。
 - ・売上 DI は 18.4 (前期比 +11.4 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 24.0 と悪化の見通しです。
 - ・資金繰り DI は 13.6 (前期比 +13.9 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 18.4 と悪化の見通しです。
 - ・採算 DI は 14.4 (前期比 +20.7 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は 24.8 と悪化の見通しです。
 - ・従業員数 DI は +11.2 (前期比 +5.9 ポイント) と人手不足感が強まり、3 カ月先は +5.6 と人手不足感が弱まる見通しです。
- ・業種別の業況判断 DI は、製造業でプラス値にて横ばい、建設業はプラスに転じ、小売業(買回品)はプラスマイナス 0 に改善、小売業(最寄品)、飲食業、サービス業でマイナス幅が縮小しました。



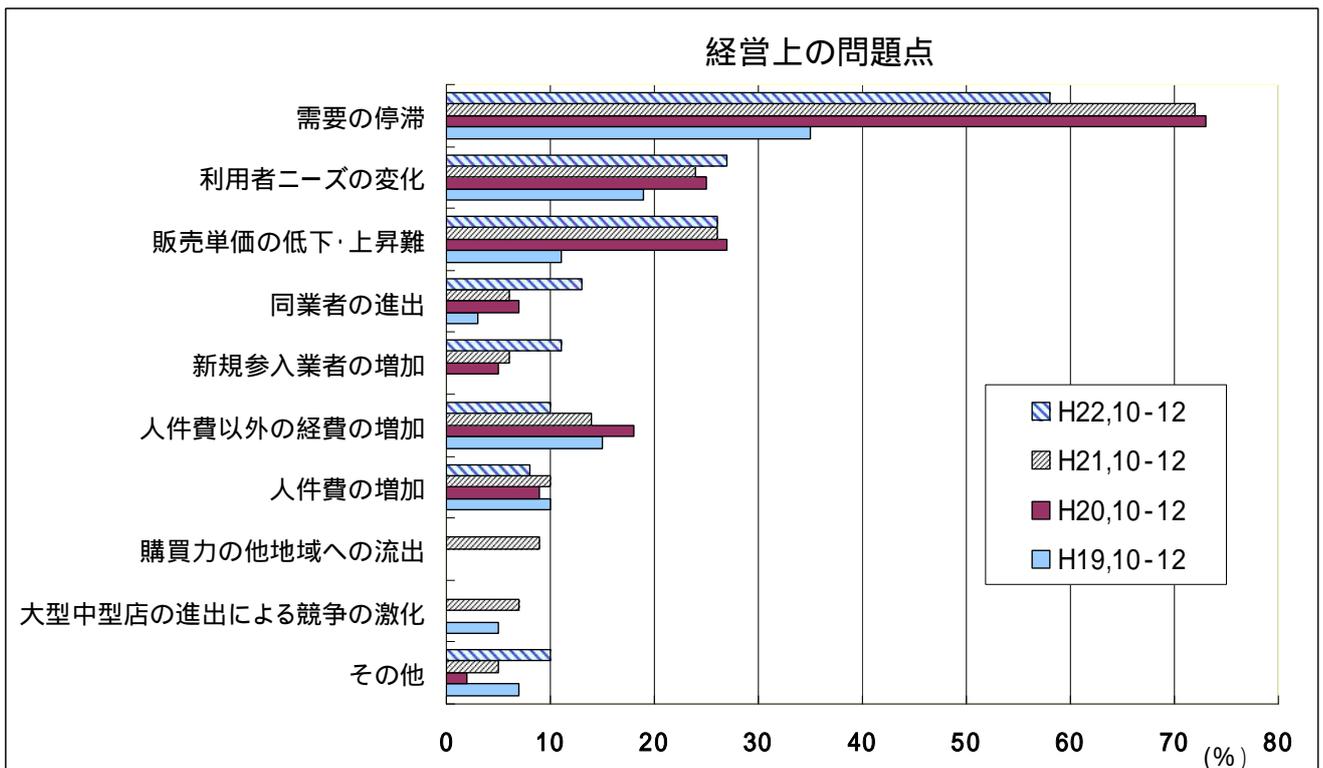


設備投資の動向

- ・設備投資件数は、10件（3カ月前と比べ9件）となりました。1年前の21件との比較では減少しました。内訳の上位は、OA機器4件、建物3件です。

経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、 需要の停滞：58%（73社）、 利用者ニーズの変化：27%（34社）、 販売単価の低下・上昇難：26%（32社）の順です。

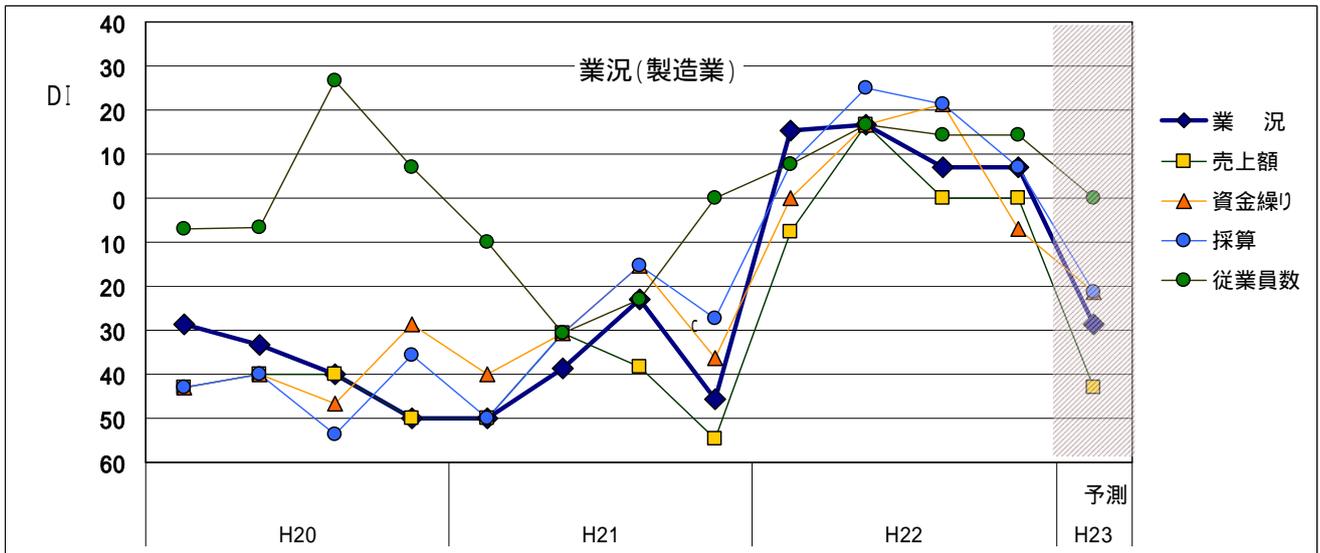


業種別

1. 製造業

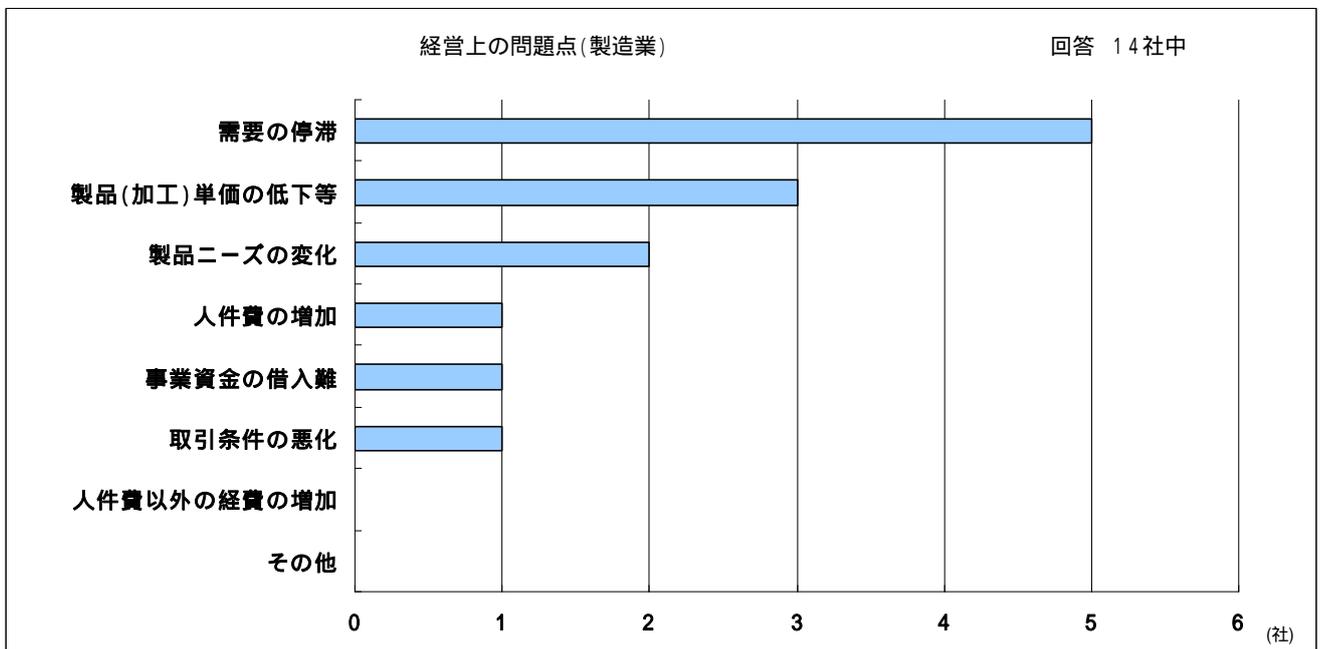
業況 DI

- ・業況判断 DI は +7.1 (前期比 ±0 ポイント) と横ばいでしたが、3 カ月先は 28.6 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は ±0 (前期比 ±0 ポイント) と横ばいでしたが、3 カ月先は 42.9 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は 7.1 (前期比 28.5 ポイント) とプラスからマイナスに転じ、3 カ月先は 21.4 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は +7.1 (前期比 14.3 ポイント) とプラス幅が縮小し、3 カ月先は 21.4 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は +14.3 (前期比 ±0 ポイント) と人手不足感は横ばいでしたが、3 カ月先は ±0 と不足感は解消の見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件のみです。

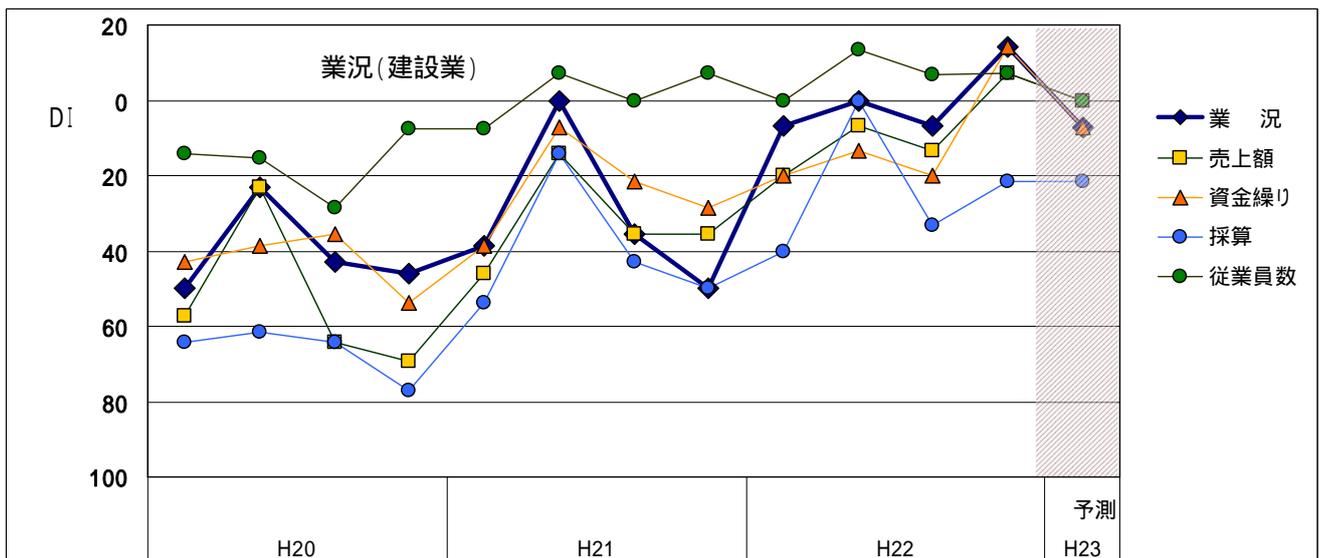
経営上の問題点



2. 建設業

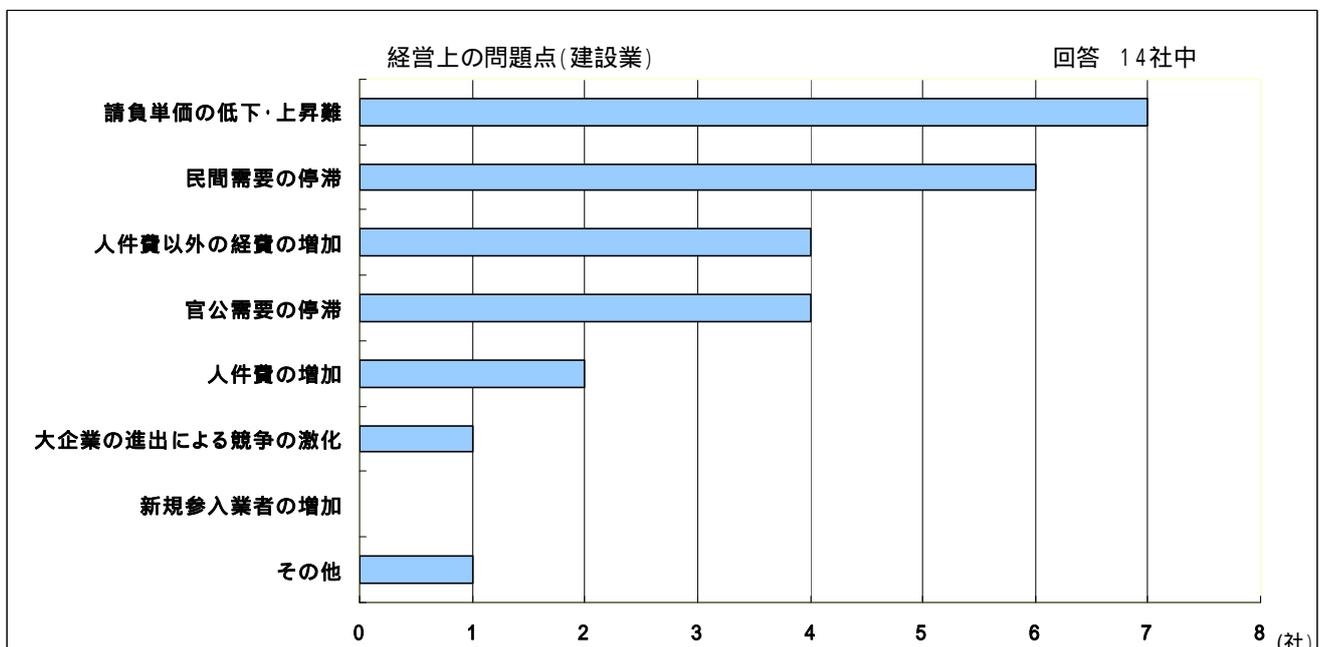
業況 DI

- ・業況判断 DI は +14.3 (前期比 +21.0 ポイント) とマイナスからプラスに転じ、3 カ月先は 7.1 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は +7.1 (前期比 +20.4) とマイナスからプラスに転じ、3 カ月先は ±0 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は +14.3 (前期比 +34.3 ポイント) とマイナスからプラスに転じ、3 カ月先は 7.1 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は 21.4 (前期比 +11.9 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 21.4 と横ばいの見通しです。
- ・従業員数 DI は +7.1 (前期比 +0.4 ポイント) と人手不足感はわずかに強まり、3 カ月先は ±0 と不足感は解消の見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件のみです。

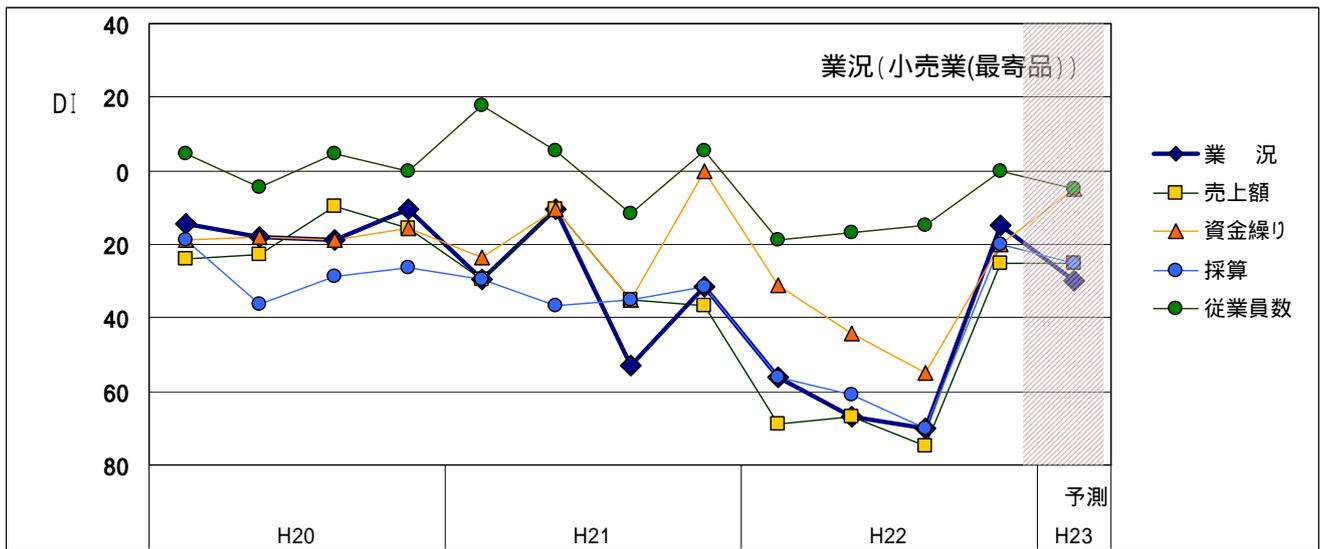
経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

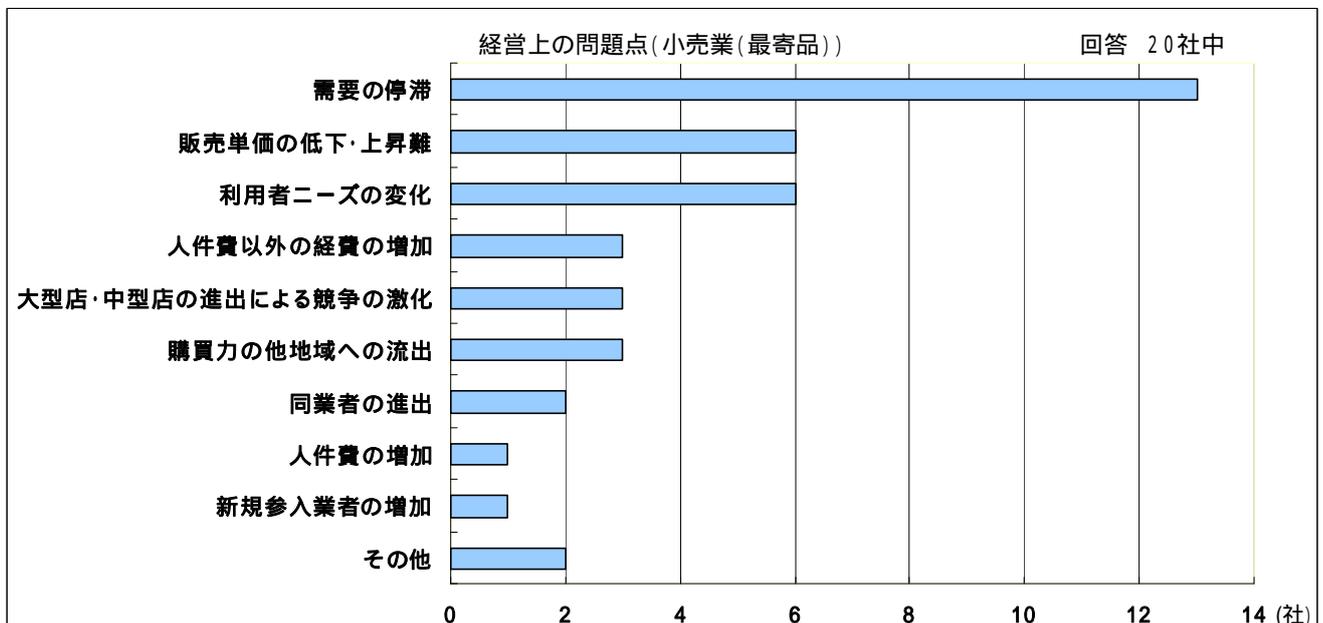
業況 DI

- ・業況判断 DI は 15.0（前期比 +55.0 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は 30.0 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は 25.0（前期比 +50.0 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は 25.0 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は 20.0（前期比 +35.0 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は 5.0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 20.0（前期比 +50.0 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は 25.0 と悪化の見通しです。
- ・従業員 DI は ±0（前期比 +15.0 ポイント）と人手過剰感がなくなり、3 ヶ月先は 5.0 と過剰感が生じる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はOA機器1件と機械設備1件です。

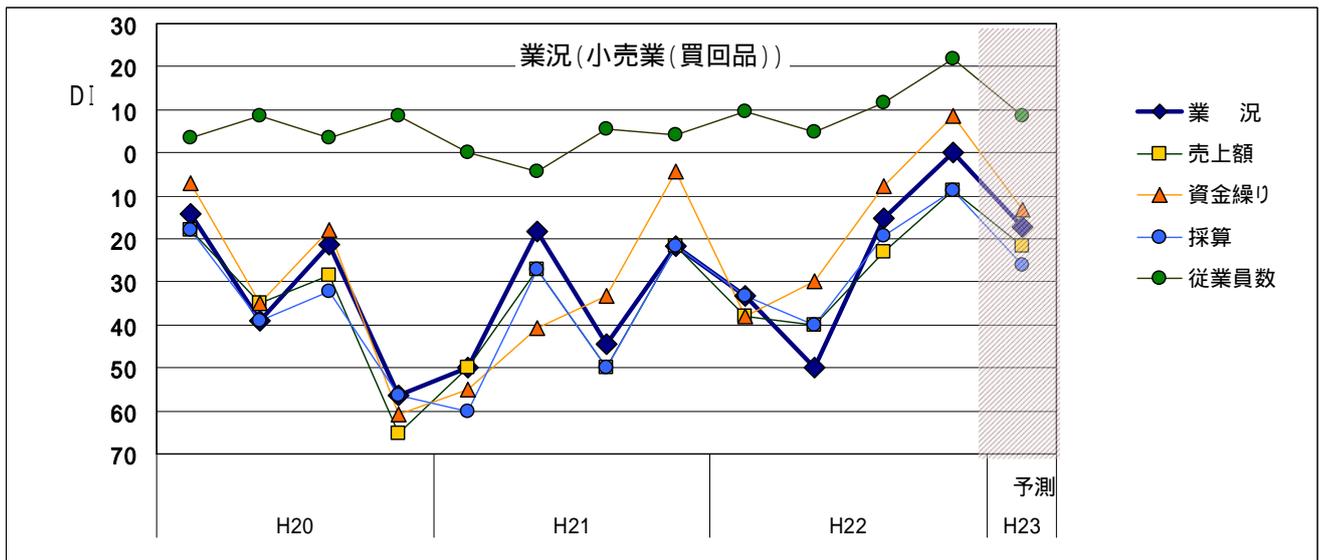
経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

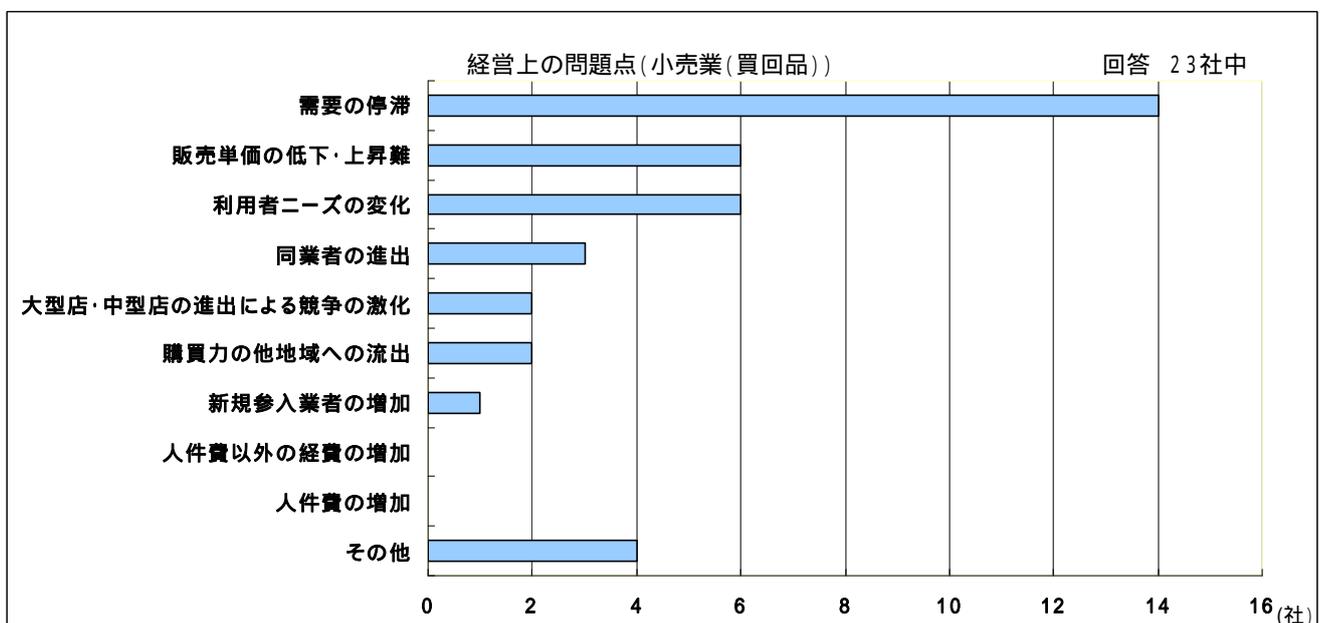
業況 DI

- ・業況判断 DI は±0（前期比+15.4ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 17.4 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は 8.7（前期比+14.4ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 21.7 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は+8.7（前期比+16.4ポイント）とマイナスからプラスに転じ、3ヵ月先は 13.0 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は 8.7（前期比+10.5ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 26.1 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+21.7（前期比+10.2ポイント）と人手不足感が強まり、3ヵ月先は+8.7 と不足感が弱まる見通しです。



設備投資の動向 設備投資はありませんでした。

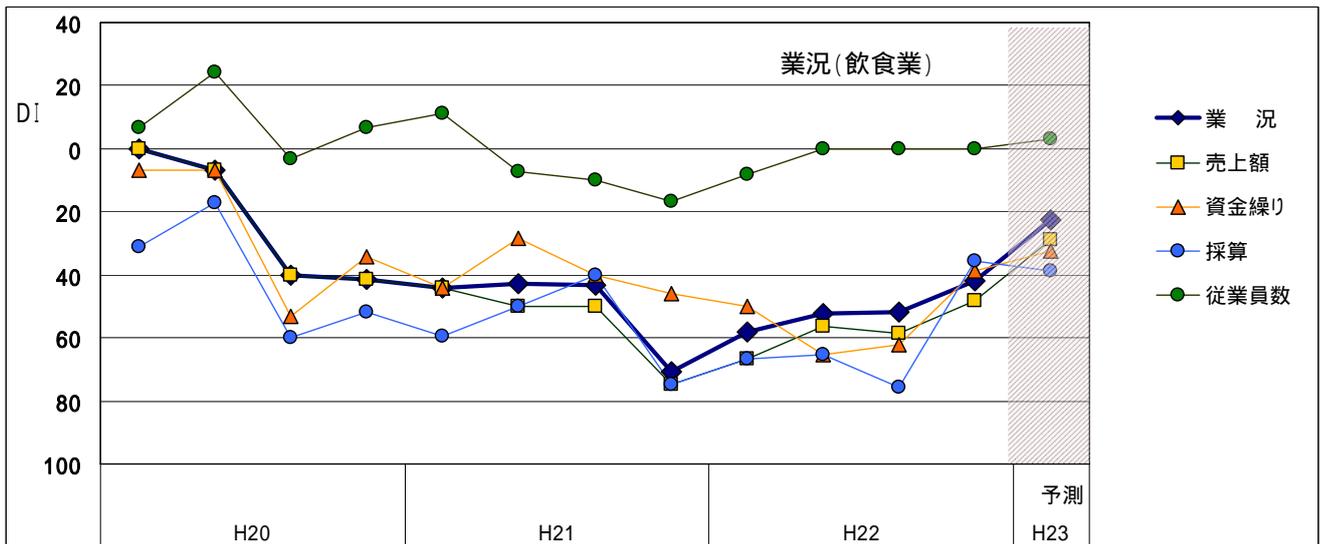
経営上の問題点



5. 飲食業

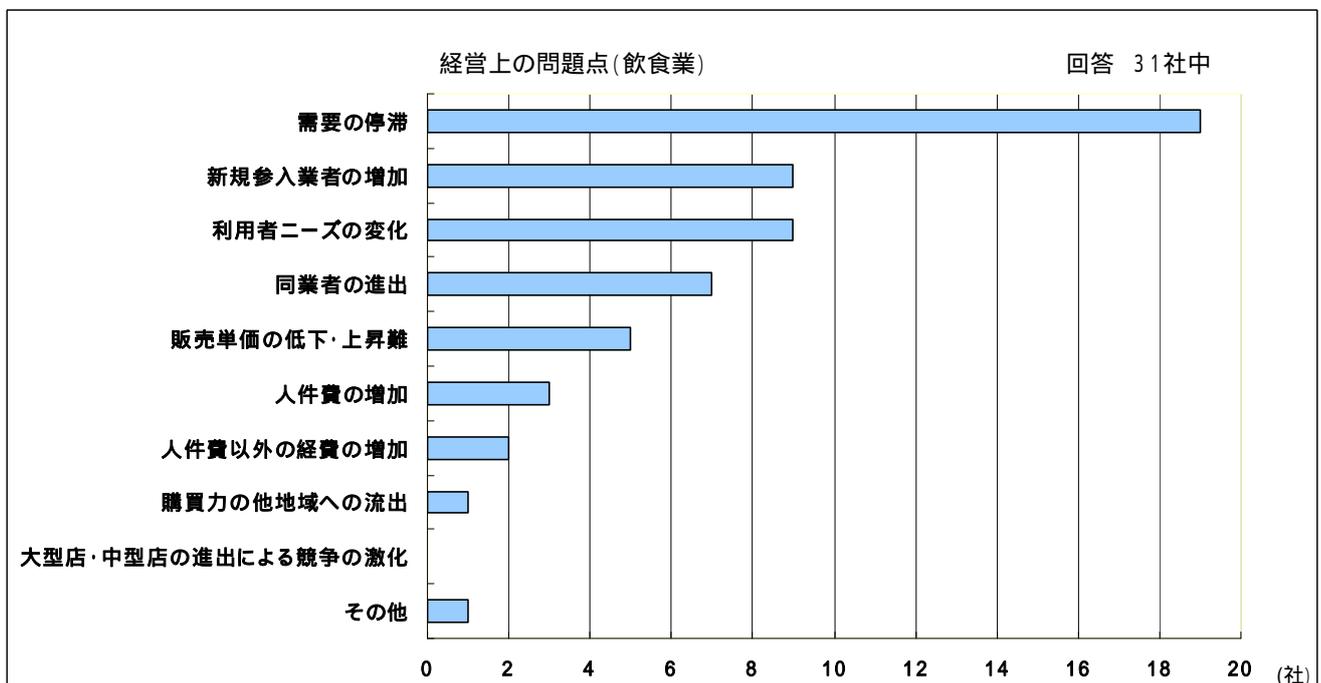
業況 DI

- ・業況判断 DI は 41.9 (前期比 +9.8 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 22.6 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 48.4 (前期比 +10.2 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 29.0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 38.7 (前期比 +23.4 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は 32.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 35.5 (前期比 +40.4 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は 38.7 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は ±0 (前期比 ±0 ポイント) と人手過不足感がなく、3 ヶ月先は +3.2 と不足感が生じる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は建物 3 件、車両運搬具、O A 機器、その他各 1 件です。

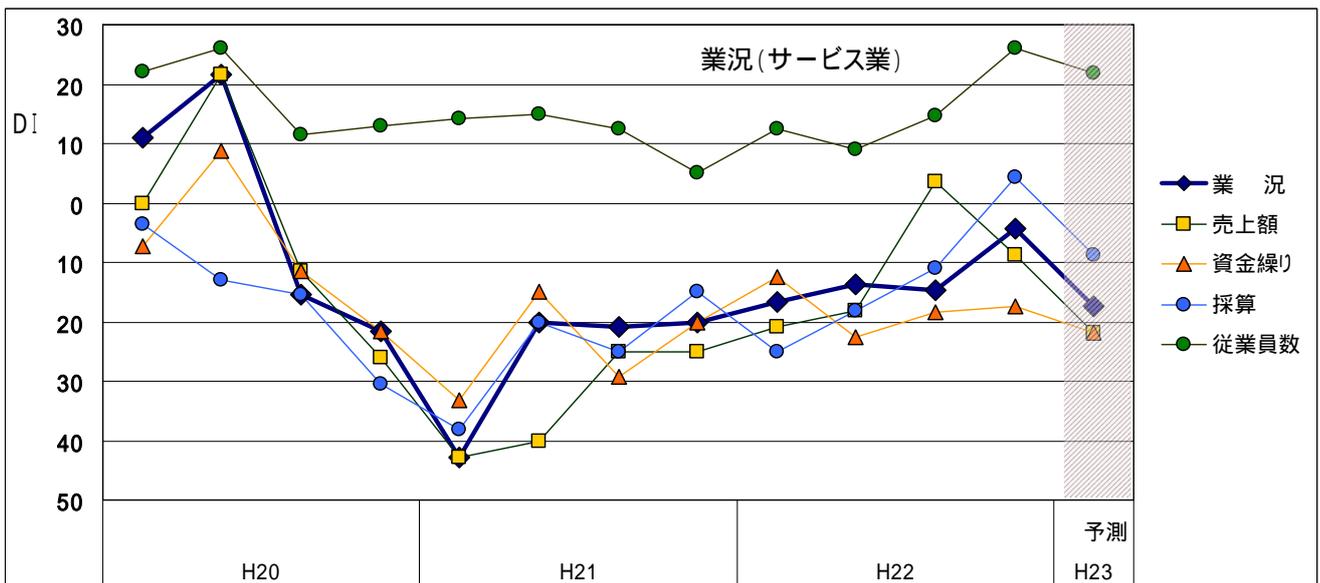
経営上の問題点



6. サービス業

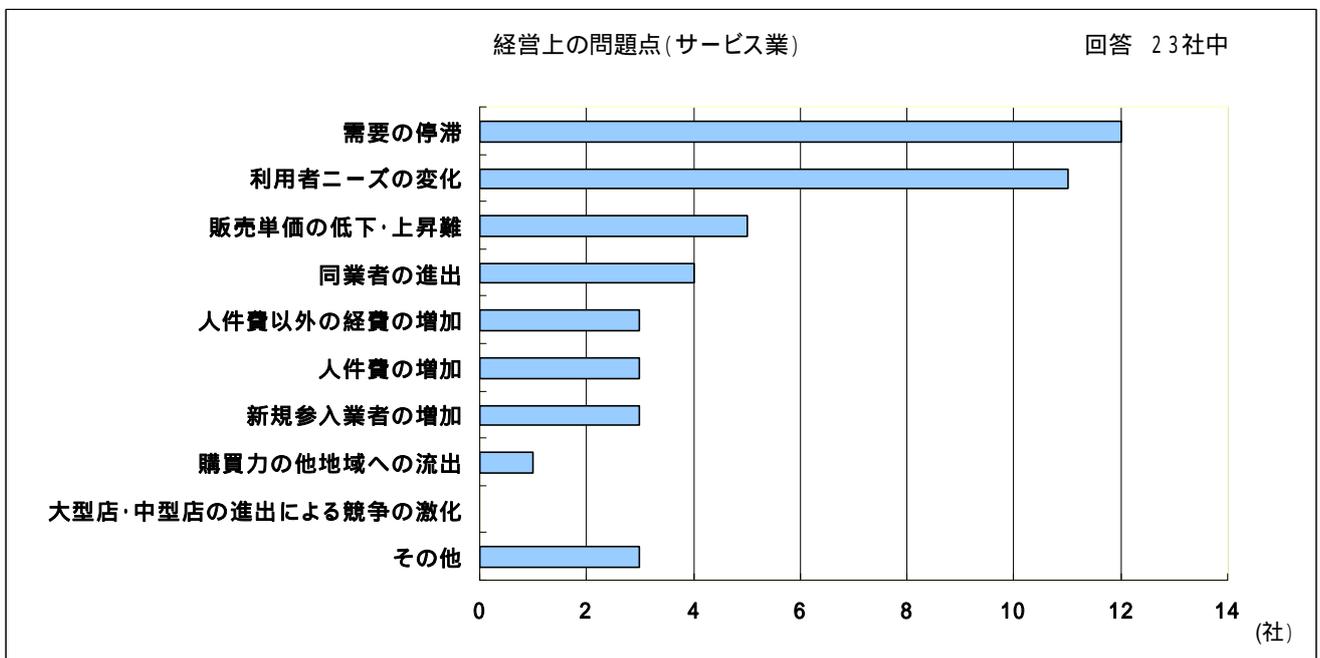
業況 DI

- ・業況判断 DI は 4.3 (前期比 +10.5 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 17.4 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は 8.7 (前期比 12.4 ポイント) とプラスからマイナスに転じ、3 ヶ月先は 21.7 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は 17.4 (前期比 +1.1 ポイント) とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は 21.7 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は +4.3 (前期比 +15.4 ポイント) とマイナスからプラスに転じ、3 ヶ月先は 8.7 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は +26.1 (前期比 +11.3 ポイント) と人手不足感が強まり、3 ヶ月先は +21.7 と不足感が弱まる見通しです。

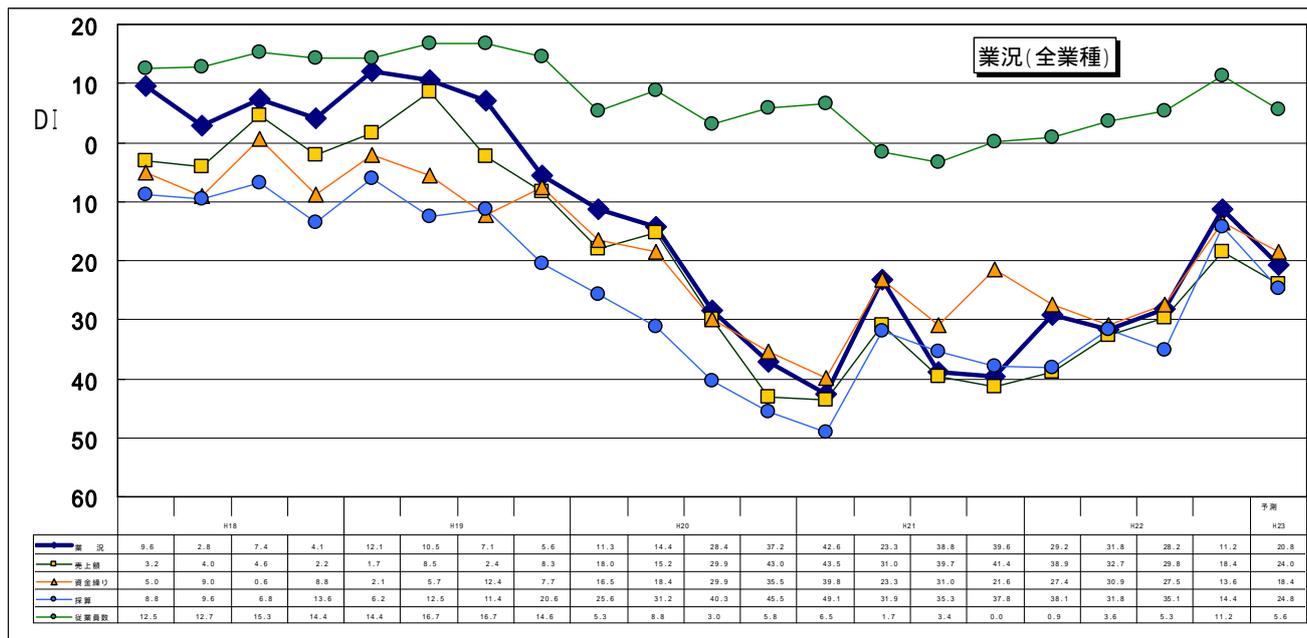


設備投資の動向 設備投資件はありませんでした。

経営上の問題点



《資料》
業況



雑談コラム

どんな時にもバランス感覚は必要です。バランスの取れた生活やバランスの良い考え方、そして経営のバランスなど、バランスの重要性は、個人にとっても、会社にとっても、また、社会にとっても欠くことができません。事業環境の中で、コストを下げて品質を上げること、時間をかけずにお客様に丁寧なサービスをすること、こりゃ無理だよ、こんな矛盾を感じることはありませんか？

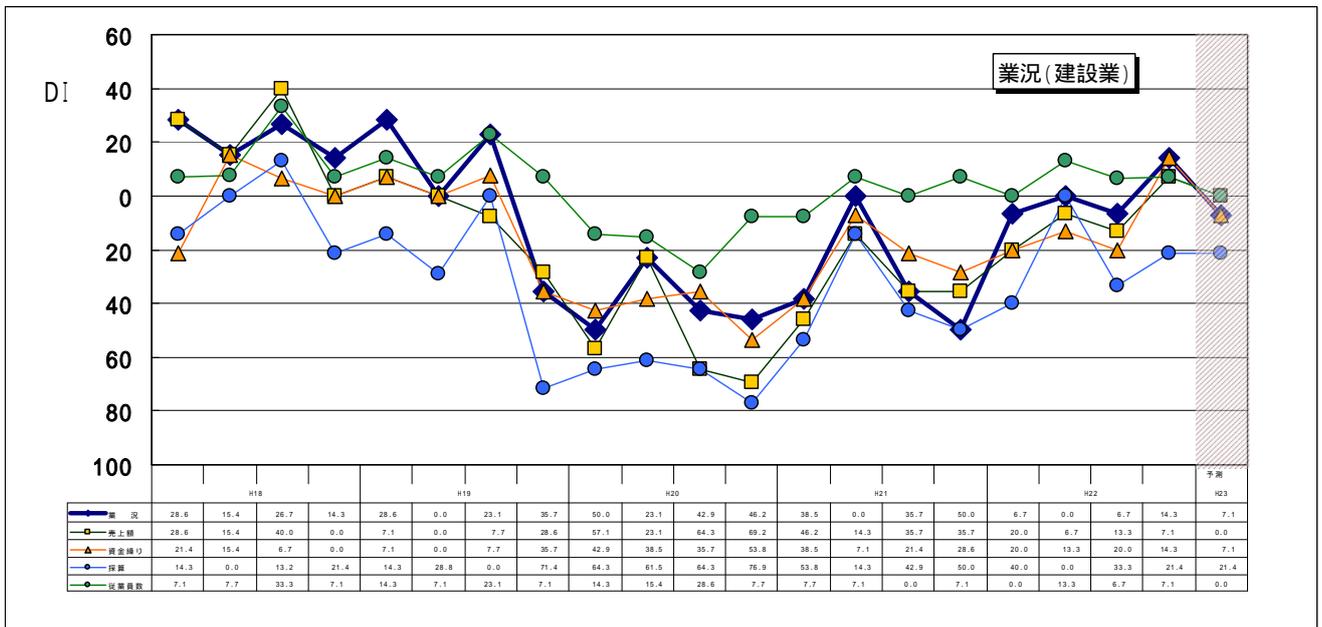
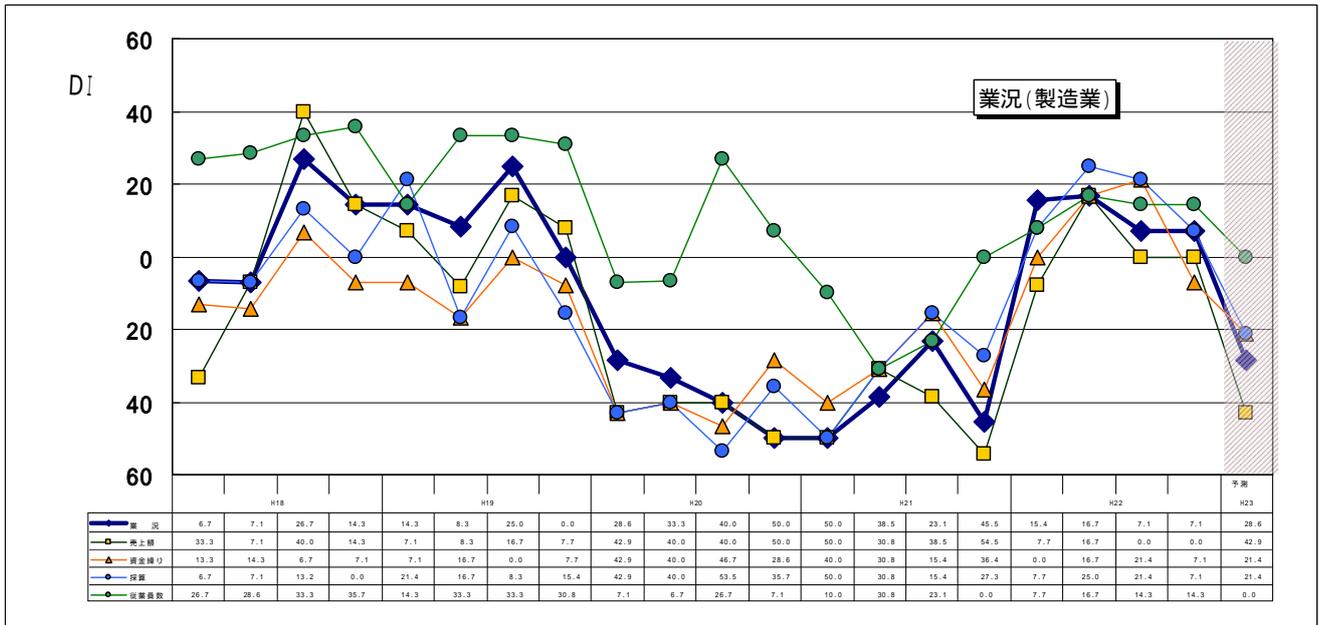
ここにバランス・スコアカードという経営手法があります。事業経営において、経営戦略を確実に推進するためのマネジメント・ツールです。バランス・スコアカードは、「財務の視点」、「顧客の視点」、「業務プロセスの視点」、「人材と変革の視点」の4つの視点で、戦略目標をバランスよく構築できるように工夫されています。

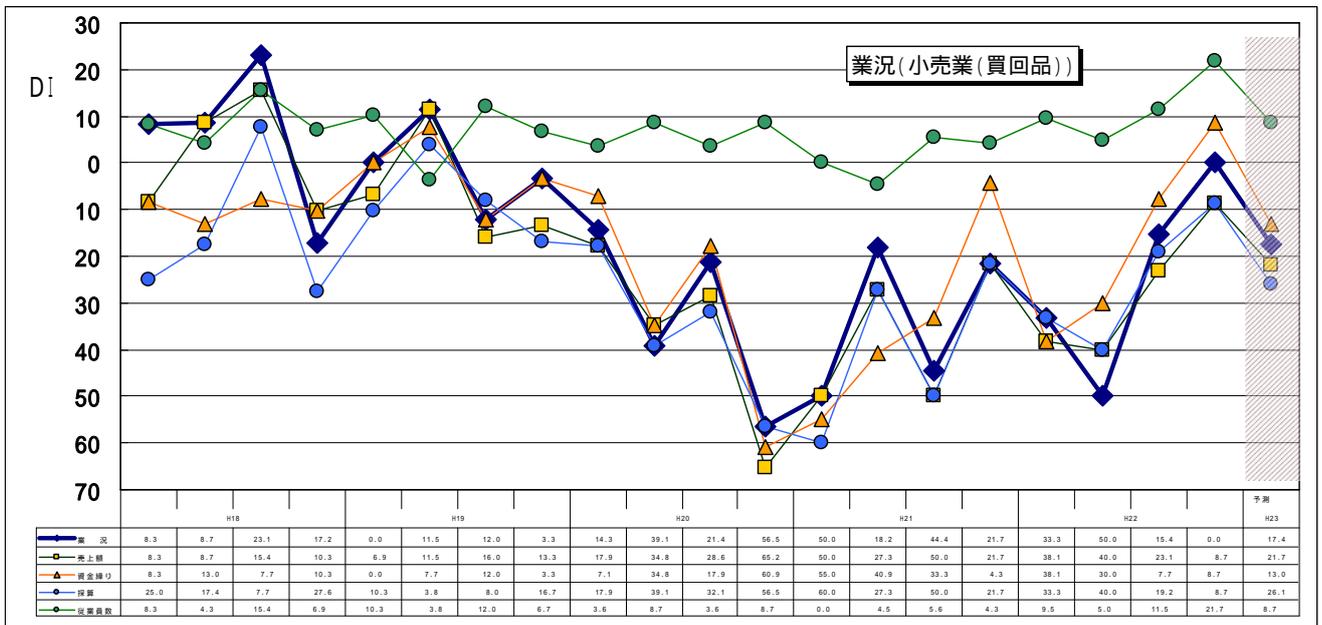
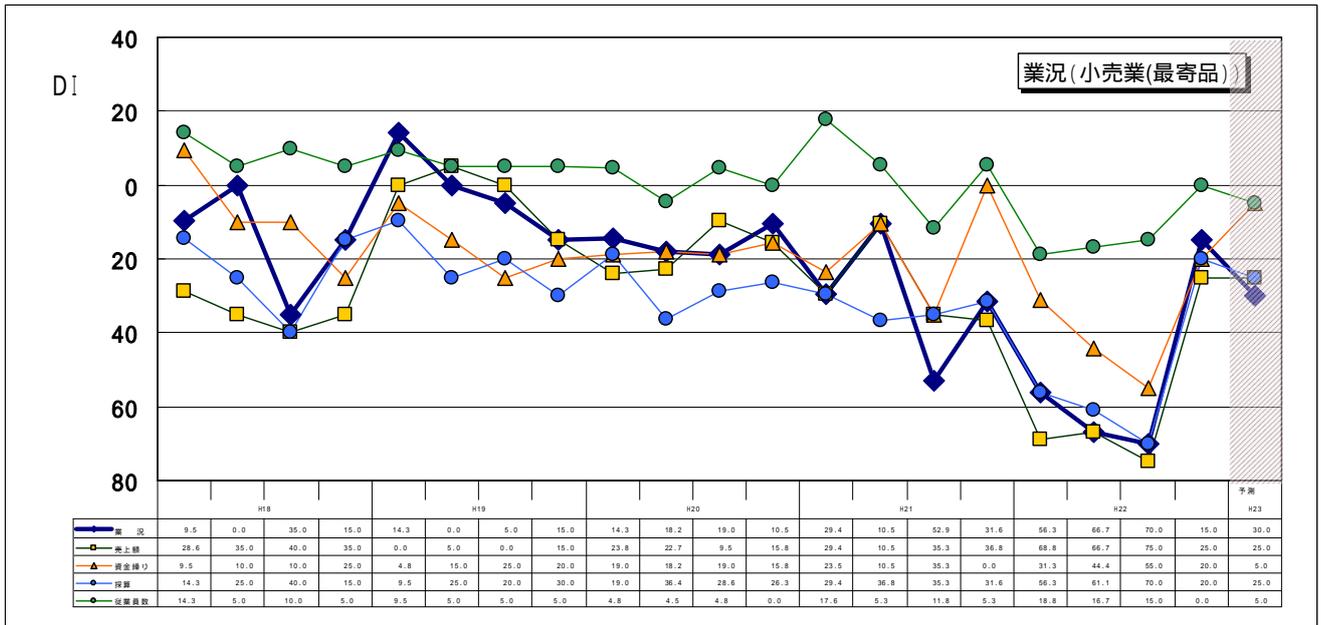
「財務の視点」はいくら売っていくら儲けるかの数値目標であり、企業が持続するのに原点となるものです。それを達成するためには、どんなアプローチでお客様満足度を向上させるのかといった「顧客の視点」が必要です。お客様の満足を得るには、自社の仕事の量と質を向上させる「業務プロセスの視点」でより良い製品を作り、あるいはサービスを提供することが必要です。そのためのベースになるのが人材育成や、長期的な変革（イノベーション）であり、これが4つ目の「人材と変革の視点」です。

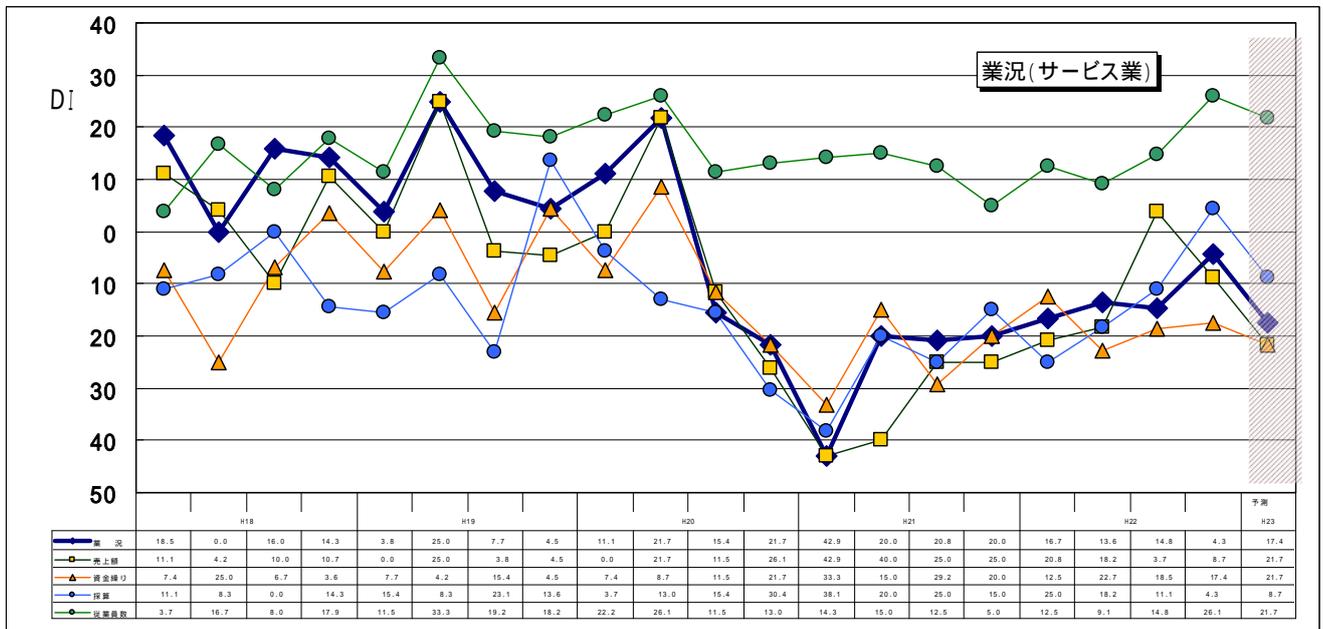
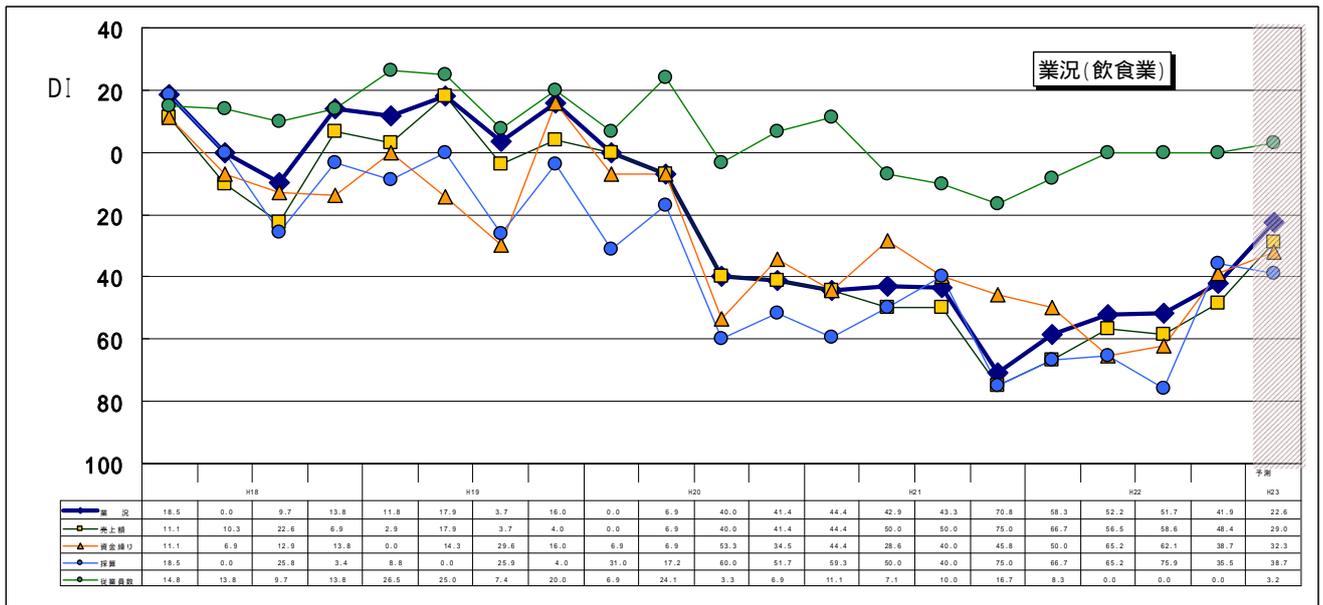
このようにバランス・スコアカードは、4つの視点それぞれに複数の戦略目標を設定し、その戦略目標を密接に関連づけながら、バランスの良い経営をしようとするマネジメント・ツールなのです。

厳しい環境の中で、自社の経営戦略を確実に実現していくために、この手法を取り入れてみてはいかがでしょうか。

(TM 中小企業診断士)







設備投資

全業種	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器	10	7	15	11	2	13	7	12	6	5	6	4	12	3	8	5	4	7	6	4	5
機械設備	8	5	9	10	3	10	8	11	9	5	8	5	6	4	7	5	2	4	1	1	2
車輦運搬具	2	6	12	4	5	9	7	6	5	3	4	7	2	7	4	6	1	3	6	1	4
建物	4	5	6	9	4	3	6	4	6	3	5	2	1	2	1	2	1	1	4	3	1
子その他	1	0	1		4	2	1	2	3	1	2	3	3	1	1	3	0	1	2	1	0

製造業	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器	2	2	3	2	2	2		2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	2
機械設備	1	1		2	1	1		1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
車輦運搬具							1		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
建物	1						1		1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
子その他								1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

建設業	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器	2	1	3			2	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	1
機械設備	2					1		1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
車輦運搬具	1	4			1	4	2	2	2	0	1	2	0	3	1	2	1	1	0	0	0
建物	1	1		1	1	1	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子その他					1			1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

小売業 (娯楽品)	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器	1		1	1	1	3	2	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0
機械設備	2	1	1	1	1	3	1	2	1	1	3	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0
車輦運搬具	1	2	3	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0
建物	1	1	2	2	1			1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
子その他									0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

小売業 (日用品)	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器	3	3	4	3					0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0
機械設備	1			1				1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
車輦運搬具			2	1	2				1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	0
建物				1	1	2		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
子その他					2				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

飲食業	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器			3	2	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	0	1	0
機械設備	2	2	4	4	4	6		5	5	4	3	2	3	2	2	1	0	3	0	0	1
車輦運搬具		2	3	1	1	2	1		0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	3
建物	1	3	4	3	1		4	2	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	2	3	0
子その他	1		1	0	3				2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0

サービス業	H18				H19				H20				H21				H22				H23
	I	II	III	IV	(予測)																
OA機器	2	1	3	3	0	4	3	5	2	3	2	1	5	0	4	0	0	1	3	0	2
機械設備		1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0	0
車輦運搬具			2			2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	0	1
建物				2					0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
子その他									0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0